

熊本国際空港（KKIAC）× 桃園国際空港（TIAC） 連携協定を締結しました

熊本国際空港株式会社（KKIAC）と桃園国際空港公司（TIAC）は2024年11月15日、熊本と台湾のさらなる交流を促し、阿蘇くまもと空港と桃園国際空港の国際線ネットワーク強化を図ることを目的に、連携協定を結びました。

協定の締結式は同日、桃園国際空港第2ターミナルであり、熊本国際空港の山川秀明代表取締役社長と、桃園国際空港の楊偉甫（よう・いほ）董事長が協定書に署名しました。熊本県企画振興部の富永隼行部長と中華民国交通部航政司の韓振華（かん・しんか）司長が立会人を務め、締結を見守りました。



▲桃園国際空港での締結式の様子

【連携協定締結の背景】

TSMC（台湾積体回路製造）の熊本進出を機に、熊本と台湾の交流は経済面のみならず、文化や観光といった幅広い分野で拡大してきました。この流れを受け、今年9月に熊本国際空港から桃園国際空港に対して協定締結に向けたアプローチを行い、今回実現したものです。

桃園国際空港と連携協定を締結している空港は米国、オランダ、中国、オーストリア、ドイツ、日本などにあり、11月15日時点で計15空港（熊本空港を含む）です。日本においては成田空港、関西空港、高松空港に続き、4カ所目となります。熊本国際空港にとって、空港を相手にした連携協定締結は仁川国際空港に続き2カ所目です。

【連携協定の主な目的】

協定締結により、阿蘇くまもと空港と桃園国際空港の国際線ネットワークを強化し、熊本と台湾のさらなる交流や発展、地域経済の活性化を図ることを主な目的としています。具体的には、次の3点を目標に掲げます。

1. 熊本－台北線の利用促進
2. 乗継需要の創出・拡大
3. 空港運營業務における連携強化

こうした取り組みの中で両空港の利便性と認知度を高め、さらなる利用者の増加を目指します。

【期待される効果】

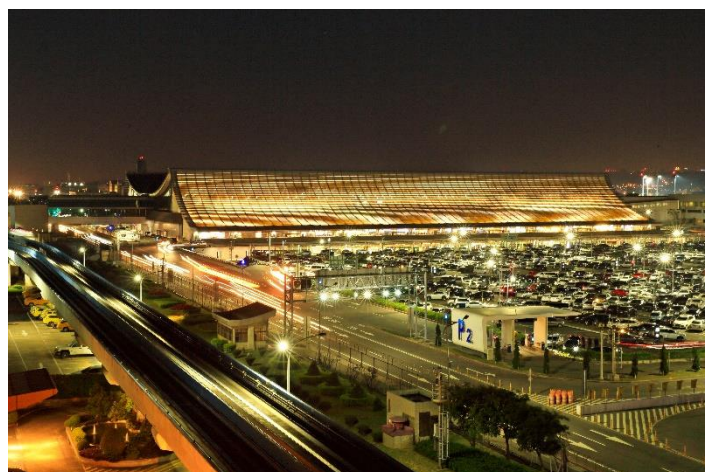
熊本国際空港としては連携協定を通じた、阿蘇くまもと空港の国際線ネットワーク拡充に期待します。桃園国際空港には北米、ヨーロッパ、アジアを中心に27カ国、100都市への路線があり、乗り継ぎで世界の各都市にアクセスできます。国際線接続強化により、阿蘇くまもと空港の競争力が高まります。

また、両空港で協力したプロモーション活動を展開することで観光客やビジネス客のさらなる増加が見込まれ、地域経済の活性化に貢献することができます。さらに、空港運營業務でも連携を図ることでサービスの向上や効率化が進み、利用者にとってより便利で快適な空港環境が提供されます。

今後も熊本国際空港は、熊本と世界をつなぐ重要な拠点として地域のニーズを捉え、地方空港ナンバーワンの国際線ネットワークの実現に向けて取り組んでまいります。



▲阿蘇くまもと空港



▲桃園国際空港

【お問い合わせ先】

熊本国際空港株式会社 総務・経理部

電話 096-232-2311

(平日 午前9時～午後5時)